

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 66

2020年11月発行

## 子育て支援事業（障害をもつ子どもの保護者向け研修会）

# 先輩の話を聞いてみよう

## ～ 障害をもつ子どもの進路について ～

日時：2020年8月8日（土）10時～12時

会場：旭区在宅サービスセンター

参加者：保護者6名、講師4組（5名）

中学校生活はどんな感じ？ 中学校卒業後はどんな進路があるの？ 受験は？ 高校卒業後の進路は？ 就学相談会で多くの保護者が就学に対する相談をされましたが、小学校入学後も、保護者の悩みは尽きません。今回は、高校生や社会人の当事者とその保護者に体験談を語っていただきました。コロナの影響もあり、少人数での開催となりましたが、子ども自身の思いや高校受験の体験も聞くことができ、参加者それぞれの疑問を伝えあったり、思いを聞きあったりすることもでき、充実した時間になりました。

### <参加者の感想から>

- ◇ 進学（就労）についての感想が聞けてとても勉強になりました。自立訓練事業の施設の存在も知らなかったので新しい情報でした。高校も支援学校と自立支援コースしか考えていなかったですが、他もあることを知りました。面接の情報も知らなかったので、聞けて良かったです。いろいろな選択肢があり、本人と親とでしっかりと見学して、本人の意志も確認して決めていく大切さを改めて感じました。
- ◇ たくさんの選択肢があることがわかり、未来が楽しみになりました。子どもの未来のために親ができることは何があるかずっと考えていますが、いろんな方のお話を聞いて、選択肢をたくさん用意することが大事だと感じました。
- ◇ 小学校に入ったばかりでまだまだ先の話かと思っていましたが、色々な経験や選択があるんだと安心。その子その子で良いんだと改めて確認することができてとても良かったです。自身の話も聞いていただけて、自分の中でも整理ができました。やっぱり同じ（皆、全く同じではないですが）ような悩み…だけじゃないですね、楽しかったことや成長を共有する場があるのはありがたいです。

◇ 4組の体験談を聴けて、それぞれが悩み、それでも自分たちのしたいことを選んで前進されている様子を聴けて嬉しくなりました。障害はあっても、選択はできると気持ちは明るくなりました。あまり気負いすぎず、明るく楽しく生きていくことも大切ですね。

◇ 進路のことで不安が大きくあったのですが、今回、お話を聴けて、少しホッとしました。今後の参考にさせていただきたいと思います。

◇ 今日は、経験のある方々のお話を聞くことができ、貴重な時間でした。「自立」するため、大きくはここですが、それまでのプロセスは、本当に一つ一つ小さく、でも大事なことばかりで悩むことがたくさんです。ほうぶの職員の方々や学校の先生と相談させていただきながら、彼がよりよい人生を歩んでいけるように支えていきたいと思います。



## コロナ禍のいま

8月、恒例の「浴衣を着てお祭りに行こう」は、千林祭りが中止され、老人クラブの方々に着付けをお願いすることも難しく、中止しました。秋の恒例のキャンプも中止です。お祭り大好きな子どもにとってはイベントがなくなるのはとても寂しいことです。放課後等デイサービスでは、外出イベントも、こどもILPのしごと体験や今年予定していた「衣」をテーマにした千林商店街ショッピングも中止しました。子どもたちが体験を広げる機会や、地域のさまざまな方々と関わる機会が奪われています。

また、ブックスタートや子ども相談などの活動からは、子育て中の保護者の方々が孤立している様子が見えてきます。相談支援事業からも、子育て世帯の孤立や、社会や大人のストレスを敏感に感じ取って不安を抱える子どもと出会います。

新しい生活様式などと言われるようになりましたが、複雑な気持ちです。何とかしたいけれど、どうにもならないジレンマの中であがいています。目の前の子どもや家族に、今できることをする、それを精一杯にやっていくしかないのだと思います。自分の無力さを自覚しながら、仲間の大切さを感じながら、日々やっていくしかないのでしょう。辛い状況にある子どもや家族が、どうかどうかこの時期を切り抜けていくことができますように。今日という日を大切に、こどもと家族、地域の方々に向きあっていきます。

(地域生活サポートネットほうぶ 向井裕子)

## 放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

8月、夏のイベントが軒並み中止になる中、子どもたちに夏の楽しみを体験してほしいと思い、「ほうぶ縁日」をしました。室内をいくつかのブースに分けて、小さな夏祭りを開催しました。10月は、淀川河川敷まで行って、ボール遊びや竹とんぼ、虫取りなどをして遊びました。ハロウィン



淀川で虫取り

パーティーもしました。ほうぶ全体をお化け屋敷のような一つのアトラクションに見立てて楽しみました。11月、久しぶりに公共機関を利用して万博公園まで行きました。やっぱり子どもたちは大喜びでした。

10月に自己評価と保護者満足度アンケートを実施しました。結果を掲載します。また、事業所内研修として、法人社員を講師に応用行動分析学の学習会を毎月一回行い、感染症対策の職員間での研修会も実施して嘔吐物処理の一連の行程を確認しました。

## 学

8月から11月の土曜日は毎月、創作活動、グループワーク、音楽会を開催しました。音楽会は、コロナ禍で長らくお休みだった武庫川女子大学の音楽療法専攻の学生さんたちが来てくれました。子どもたちは、学生さんたちと一緒にリズム遊びをしたり、音楽ゲームをしたり、楽器を鳴らしたりして、音楽の時間を楽しみました。グループワークは、大きな輪になって順番に、秋から連想するもの、秋にやりたいこと、ハロウィンといえばこの仮装などをテーマに、写真を選んで発表しました。創作活動は、縁日の看板づくり、サングラス作り、粘土をしたり、段ボール箱で玉入れを作ってみんなで玉入れをしたりしました。ハロウィンに向けて仮装マスクも作りしました。

10月に、中学3年生のワタシ×ミライワークショップを開催しました。3か所の放課後等デイサービスを利用している生徒さんですが、各事業所の職員の方々、相談支援事業所や中学校の先生方も来てくださり、にぎやかなワークショップになりました。ただ、7月の開催時と同様、コロナ対策で大きな輪になってのワークショップでは、ざっくばらんに意見交換していただくことがなかなか難しく、悩みどころです。



グループワーク

音楽♪



創作活動

ワタシ×ミライ ワークショップ



## 食

8月の短い夏休みと土曜日にはクッキングをしました。感染症対策をして、少人数で順番に調理をしました。配膳は職員がして、ほうぶ全体に分散して座り、透明な仕切りを間において食べました。グラタン、ビビンバ、焼きそば、うどん、餃子、かつ丼、ミートスパゲティ、チャーハン等など、いろんなメニューを作りました。マシュマロトースト、月見団子、ホットケーキなど、おやつ作りにもチャレンジしました。



# 遊

## ほうぶ縁日

**日時：**2020年8月8日（土）14:00~15:00 **参加者：**こども10名  
 手作りの縁日を開催しました。スーパーボールすくい、的あて、輪投げ、たこせん等、いろいろなコーナーをほうぶの中に作りました。的あてや輪投げは創作活動で作りました。浴衣や甚平を着て夏祭りの気分で、最後に盆踊り。ひと時の夏の楽しみでした。



## ハロウィンパーティー



**日時：**2020年10月31日（土）14:00~15:00 **参加者：**こども10名、ボランティア6名

ハロウィンパーティーも手作り感満載。クモの巣廊下や落ちてくるオバケ、シューティングゲーム。お化け屋敷をイメージしましたが、障害物競走のような内容になりました。最後にビンゴゲームをして、こどもたちは嬉しそうに賞品を選びました。



### <ボランティアの感想から>

- ・今日のハロウィンパーティーは、すごく豪華だったなと思いました。子ども達も楽しかったみたいで何度もチャレンジしていて良かったなと思いました。
- ・久しぶりにほうぶの活動に参加したのですが、子どもたちのアグレッシブさについていくのが大変でした。ハロウィンパーティーもみんな楽しんでくれて良かったと思います。口数の少ない子どもたくさんコミュニケーションをとれるようがんばりたいです。

## 万博記念公園へ遠足



**日時：**2020年11月7日（土）10:00~16:00 **参加者：**こども8名、ボランティア4名

地下鉄、モノレールを乗り継いで万博公園に行きました。公共交通機関では分散して乗り込みおしゃべりをしないようにする、お昼ご飯は外で分散してとるなど、感染対策の検討を重ねて実施しました。太陽の広場、民族学博物館などを楽しんで帰ってきました。

### <ボランティアの感想から>

- ・久しぶりのほうぶ、楽しかったです。ありがとうございます。今回はAくんの担当で、初対面だったのですが、帰るときに「今日一日楽しかった」と言っていたので良かったです。電車がとても好きだったので、これからも電車に



乗るイベントが増えていけばいいなと思いました。

- ・今日は、Bくんの担当をしました。歩きたくなかったのか分かりませんがエレベーターに乗りたがっていました。万博記念公園に着いてからは道でどんぐりを拾ったり、公園で走ったりして遊んだりと楽しんでいた印象でした。帰り道は疲れていた様子でした。僕自身も普段、公園には行かないのでいっしょに楽しめて良かったです。



## ～事業所自己評価～

〈 楽童ほうふ 〉 自己評価表

2020年10月

P. 1

	チェック項目	評価				改善目標や工夫している点
		はい	いいえ			
体制・環境	1 職員の配置数は適切か	4	3	2	1	有資格の児童指導員3名が常勤で勤務。加えてパート職員も配置。
	2 事業所の設備のバリアフリー化の配慮がされているか	4	3	2	1	スロープ手すりを設置。ただ、施設の改造に限界がある。
業務改善	3 保護者向け満足度評価表を活用するなどして保護者の意向を把握し改善に繋げているか	4	3	2	1	満足度調査の結果をふまえて職員会議で改善に向けて話し合いをしている
	4 自己評価の結果を法人の会報やホームページなどで公開しているか	4	3	2	1	満足度調査を行い、HPや法人会報で公開している
	5 職員の質の向上をはかるために研修の機会を確保しているか	4	3	2	1	研修の機会が多く、研修報告も行っている
適切な支援の提供	6 支援開始前に職員間で打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか	4	3	2	1	毎朝、前日の気づいた点の共有と、当日の支援内容や役割分担を打合せている
	7 支援終了後に職員間で振り返りをし、気付いた点を共有しているか	4	3	2	1	支援終了後、パートの振り返り、職員で振り返りをし、日報に記録している
	8 活動記録・日報など、日々の活動記録を取っているか	4	3	2	1	毎日、活動記録と日報をつけている
	9 計画的に活動を進めるために年間の活動プログラムを作成しているか	4	3	2	1	職員会議で年間計画を作成している。今年度はコロナ禍で中止にしたプログラムが多い
	10 活動プログラムの立案をチームで行い、工夫をしているか	4	3	2	1	職員会議で職員が意見を出し合って決定し、実践している
	11 平日、土曜日、長期休暇に応じて、活動内容を工夫し、細やかに支援しているか	4	3	2	1	職員会議で職員が意見を出し合って決定し、実践している
	12 個別活動とグループ活動を組み合わせて活動プログラムを作成しているか	4	3	2	1	職員会議で職員が意見を出し合って決定し、実践している
	13 こどもと保護者の希望を聞き、課題を客観的に分析して個別支援計画を作成しているか	4	3	2	1	個別支援計画の作成・更新の度に職員会議を行っている
	14 個別支援計画の支援内容を日々の支援に役立てる工夫をしているか	4	3	2	1	活動や学習支援に、意識的に支援計画の内容を取りこんでいる
	15 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画を見直し、職員間で支援内容を共有しているか	4	3	2	1	6カ月に一回、計画を見直すためのケース会議をしている
法人理念に沿う活動	16 医療的ケアに必要な子どもの受入れ体制を作っているか	4	3	2	1	現在、対象児童はいないが、常勤職員全員が3号研修を受講している
	17 必要に応じて関係機関と連携しながら計画を作成し支援を行っているか	4	3	2	1	ワタシ×ミライワークショップの取り組みや、学校への聞き取りなどを行っている
	18 こどもの将来に向けて、こどもの体験を増やす活動に計画的に取り組んでいるか	4	3	2	1	3月～9月は、コロナ禍で、こどもILPの取り組みが充分できない
	19 こどもの自尊感情をはぐむ取り組みをしているか	4	3	2	1	グループワークの取り組みを開始。自分研究の取り組みも実施。
20 地域住民や関係機関と連携し、地域社会の一員として育つ取り組みをしているか	4	3	2	1	コロナ禍で地域イベントが中止。昨年度は地域活動に積極的に参加。	

	チェック項目	評価				改善目標や工夫している点
		はい	いいえ			
保護者や地域との連携	21 学校との情報共有(行事予定や下校時刻の確認、連絡調整等)を行っているか	4	3	2	1	学校からの便りや電話連絡などで情報共有をしている
	22 こどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題に対して共通理解を持っているか	4	3	2	1	保護者に伝えて共通理解をもつように努めている
	23 学校を卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	2	1	サポートブックの作成やワタシ×ミライワークショップの開催などを行っている
	24 発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	2	1	今年度は、コロナ禍で、エルムおおさかの訪問指導が受けられていない
	25 地域自立支援協議会や地域活動協議会に参加しているか	4	3	2	1	自立支援協議会、子ども部会、相談部会、事業所連絡会、地域活動協議会に参加
	26 地域に開かれた事業所運営を行っているか	4	3	2	1	学生のボランティアやフィールドワークの受け入れ実施。バザーも開催した。
保護者への説明責任	27 重要事項説明書や個人情報の取り扱いについて、保護者に丁寧に説明しているか	4	3	2	1	契約時、重要事項説明書や個人情報の取り扱いについて説明
	28 保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか	4	3	2	1	随時、相談を受けているが、保護者評価が高くはなかったため、改善する
	29 保護者会や保護者研修会を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	2	1	保護者研修会&交流会を開催した。
	30 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合、迅速に対応しているか	4	3	2	1	苦情対応窓口を設置し、相談台帳を作成している
非常時等対応	31 定期的に会報などを発行し、活動報告や情報の発信をしているか	4	3	2	1	毎月、デイの便りを発行し、3か月に1回法人の会報を発行している
	32 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを作成し、職員や保護者に周知しているか	4	3	2	1	マニュアルを作成し、随時、保護者に必要事項を連絡している。防犯マニュアルの整備が必要である。
	33 非常災害に備え、定期的に避難・救出、その他必要な訓練を行っているか	4	3	2	1	避難訓練、防災研修などを実施した。
	34 新型コロナ感染症対策について、職員間で話し合い、マニュアルを作成し、対策をしているか	4	3	2	1	職員会議でマニュアルを作成し、職員間で話し合いを重ねている。
	35 ヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有し、事故等の防止に努めているか	4	3	2	1	パートを含めた職員全員で共有し、事故等の防止に努めている
	36 食物アレルギーのある子どもについて、おやつや調理などの対応がされているか	4	3	2	1	掲示している当日利用者の名札にも記載して、対応している。
	37 虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、対応をしているか	4	3	2	1	応用行動分析の勉強会を毎月実施し、支援の質の向上を図っている。

## ～保護者アンケート～

### 保護者の皆様からのコメント(抜粋)

- 学童保育、いきいき教室に通うのがストレスだった子が「毎日ほうぷさんがいい！早く迎えにこないで！」と言う程、楽しく安心して通えている事に、本当にうれしく思うと共に、心おだやかに親が救われています。
- ①～⑳どの項目もとても重要な内容だと思います。満足度⑥⑨⑫⑮を「満足」にした理由はまだ取り組んでいない活動の為です。他の項目はおおいに満足とさせて頂きました。色々な活動、取り組みをされており、何より子どもが通うのを楽しみにしていることが嬉しく思います。まだ体力のない我が子は何より下校時が心配でいつも気になっています。しかし、学校の登下校はとても大切に考えており、ランドセルを背合い、時には傘をさし歩くのも良い経験と思っています。また、長期休み等などの対応もありがとうございます。
- ⑫の内容のように、まだ不明な点もありますが、年齢の高い方たちの利用が多いデイはあまり見ないので、ほうぷさんの対応に皆さん満足されているのではないのでしょうか。
- 学校や他のデイサービスとも連携をとってもらって助かっています。将来に向けた勉強会や情報共有などを定期的実施していただければ助かります。
- 「いつも保護者からの意見、聞きすぎやで～」と思うほどで、よく対応していただいています。毎回会報に目を通すたび「お～、こんなことにも取り組みはるん？」と驚いています。

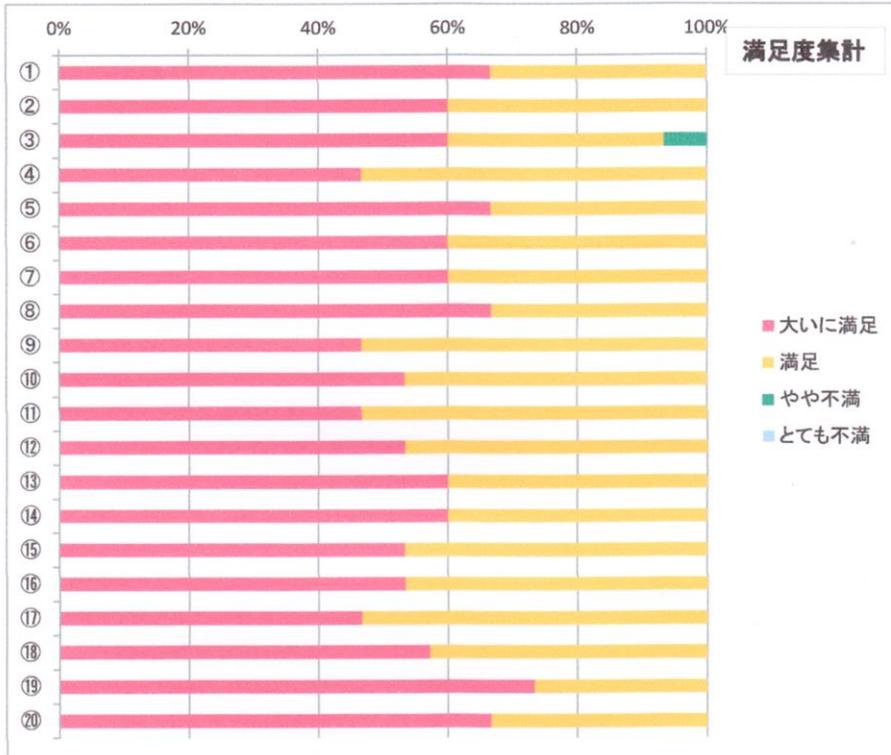
# アンケート集計

## 2020年度 満足度調査(保護者)

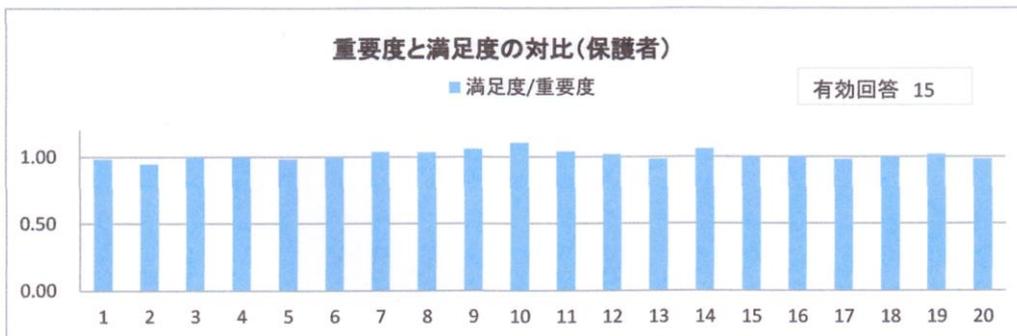
### 【質問】

- ①職員の対応の仕方                      ②職員への相談のしやすさ                      ③ほうぶからの連絡や報告
- ④情報提供などのわかりやすさ                      ⑤こどもの主体性の尊重                      ⑥個別支援計画                      ⑦平日の活動内容
- ⑧土曜日や長期休暇中の活動内容                      ⑨体験イベントの内容                      ⑩季節行事の内容                      ⑪地域との交流の機会
- ⑫フタシ×ミライWSの取り組み(実施した人だけ)                      ⑬学校や福祉サービス事業所との連携
- ⑭保護者への支援                      ⑮施設の安全性や衛生面                      ⑯危機管理体制(災害対策や活動中の安全性)
- ⑰危機管理体制(感染症対策)                      ⑱新型コロナ感染症緊急事態宣言中のデイの対応

アンケート配布数:19 アンケート回答数:16 有効回答数:15(重要度のみの記入で満足度の記入がなかったもの1)



設問	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
大いに満足	10	9	9	7	10	9	9	10	7	8	7	8	9	9	8	8	7	8	11	10
満足	5	6	5	8	5	6	6	5	8	7	8	7	6	6	7	7	8	6	4	5
やや不満	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とても不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
重要度	3.50	3.56	3.31	3.25	3.50	3.38	3.25	3.31	3.06	3.00	3.13	3.25	3.44	3.19	3.31	3.31	3.31	3.13	3.44	3.50
満足度	3.44	3.38	3.31	3.25	3.44	3.38	3.38	3.44	3.25	3.31	3.25	3.31	3.38	3.38	3.31	3.31	3.25	3.13	3.50	3.44
満足度/重要度	0.98	0.95	1.00	1.00	0.98	1.00	1.04	1.04	1.06	1.10	1.04	1.02	0.98	1.06	1.00	1.00	0.98	1.00	1.02	0.98

## ● 地域活動報告 ●

- 9月 2日(水) 旭区地域自立支援協議会 こども部会定例会
- 9月 4日(金) 旭区子育て支援関係機関会議「あさひの輪」定例会
- 9月15日(火) 清水子育て支援ボランティアグループ定例会
- 9月16日(水) 旭区地域自立支援協議会定例会
- 10月 2日(金) 旭区子育て安心ネットワーク定例会
- 10月19日(水) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)
- 10月21日(水) 旭区地域自立支援協議会 相談部会定例会
- 11月10日(火) ブックスタート開催(4組参加) ⇒ ⇒ ⇒



新型コロナウイルス感染症の拡大がなかなか収まりません。ウイルスの侵入を防ぐにも限界があります。子どもたちに「密になるな」ということも無理な話です。手洗い、マスクの着用、換気や消毒を行うなど手立ては限られていますが、できることをやっていきます。皆さん、お身体に気をつけてお過ごしください。

